

誰一人取り残さないための学力向上アクションプラン

令和 7 年 5 月 1 日現在 江戸川区立上小岩小学校

全国学力・学習状況調査		
A・B層の割合		
年度	国語	算数
令和 8 年度の目標	50.0%	60.0%
令和 7 年度の目標	45.0%	55.0%
令和 6 年度の結果	40.3%	43.3%
令和 5 年度の結果	41.7%	49.2%

令和 6 年度江戸川区学力調査結果		
A・B層の割合		
学年	国語	算数
第 6 学年	40.3%	49.3%
第 5 学年	45.6%	58.2%
第 4 学年	54.7%	47.1%
第 3 学年	45.4%	47.0%

 ともに、生きる。 江戸川区	目標達成に向けた取組		
	教員の指導力向上	基礎学力の保障	学習習慣の確立
学校全体の取組	・ 週案計画にて、思考内容の授業か、知識主体の授業かの精査 ・ 教科毎にPDCAサイクルを意識した授業の徹底 ・ 児童の学習活動を明確化 ・ 授業のユニバーサルデザイン化	・ 習熟度別少人数指導の実施 ・ 単元の特性を踏まえた、少人数編成の実施 ・ 東京ベーシックドリルの活用 ・ 業間休みを活用した、基礎学習プリントの実施	・ 毎日の家庭学習計画表の作成 ・ 「study week!」を核とした、ドリルパークの取り組み強化 ・ 発達段階に応じた学習時間を提示し、計画的に家庭学習に取り組む
特に支援が必要な児童・生徒への手だて	・ 知識技能の指導において学力の向上の可視化 ・ 支援が必要な児童の現状把握、アセスメントの強化	・ 不合格者へのサポートを放課後補習事業者と連携して実施 ・ ドリルパークで苦手分野の復習を実施 ・ 担任による放課後補習の実施	・ 「study week!」期間中の計画表を通した家庭との連携 ・ 児童に応じた家庭学習の連携 ・ 通級指導教員と連携した個別課題への取り組み
成果指標	・ 全国学力調査 「5年生までに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか」肯定的な回答→80%以上	・ 東京ベーシックドリルの診断テスト8割達成者90%以上	・ 全国学力調査「授業時間以外の勉強時間」1時間以上の回答割合70%以上